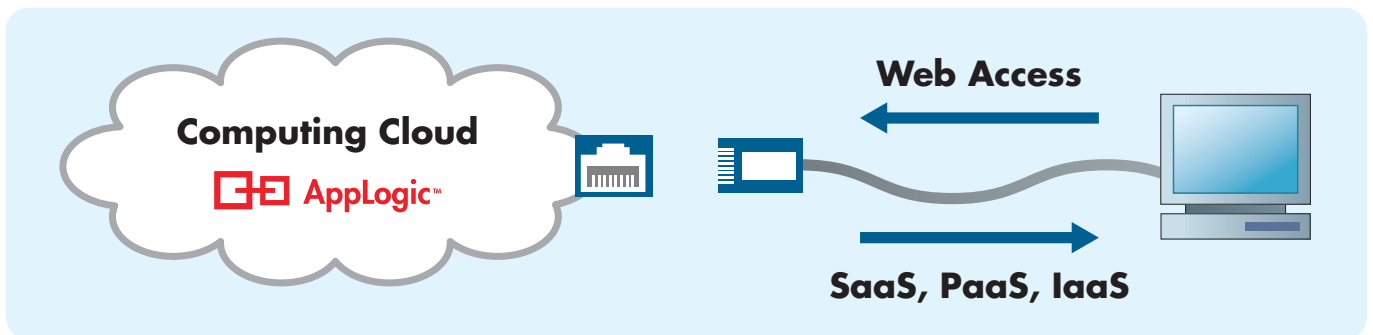


# CA 3tera AppLogic™

絵に描いたシステムがその場で動くクラウド基盤を実現

## クラウドコンピューティング基盤が、早く簡単に完了します。

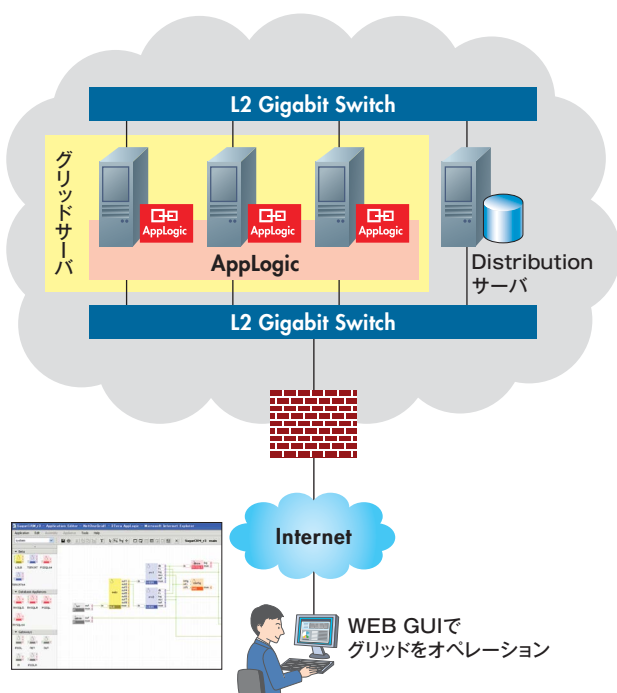
L2ギガビットスイッチと汎用的なIAサーバさえあれば、AppLogicで簡単・迅速にクラウドコンピューティング基盤の構築が可能です。



## AppLogic製品特徴

AppLogicを利用すれば、L2ギガビットスイッチと汎用的なIAサーバを準備するだけで、誰でも、簡単・迅速に、クラウドコンピューティング基盤の構築が可能です。従来、クラウドコンピューティング基盤を構築する際に必要とされていた各アプライアンス製品 (SANストレージ、ファイアウォール、ロードバランサなどの機器) は必要ありません。下図のような物理構成を構築し、AppLogicを各グリッドサーバにインストールすれば、自動でHWリソースを仮想化、集約 (グリッド) します。

また、HWリソースが足りず、追加する場合も複雑なケーブルリング、設定を行う必要はありません。L2ギガビットスイッチの間に新しいサーバを追加接続するだけで、稼働中のシステムを停止させることなく、HWリソースの増加が可能です。



クラウドコンピューティングの構築例

### 特徴1 3時間でクラウド基盤ができあがる!

L2ギガビットスイッチとIAサーバさえあれば、3時間でクラウド基盤を構築しサービスを開始することも可能です。AppLogicによってクラウド化されたITリソース (サーバ、ストレージ、ネットワークなど) はWebGUIで統合管理できます。また、AppLogicにはオープンソースベースの仮想アプライアンス (Webサーバ、FW、LBなど)、約40種類があらかじめバンドルされており、それらをマウスでドラッグ&ドロップし結線することで、数分でシステムを稼働させることができます。仮想アプライアンスは、メーカーから提供されているものだけでなく、ユーザが独自に作成・カスタマイズすることも可能です。

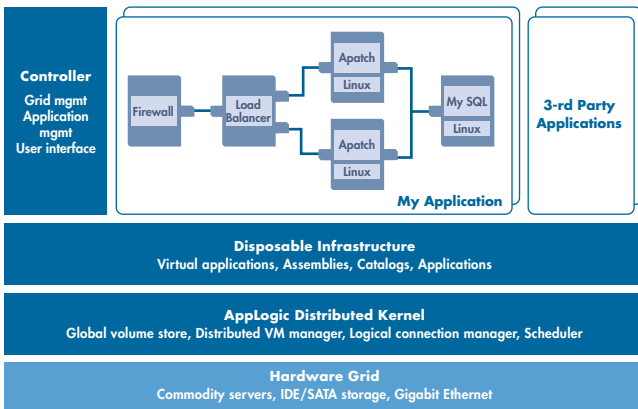
### 特徴2 最小限のコストではじめられる!

必要最低限のリソースに見合ったHW (L2ギガビットスイッチ2台〜、IAサーバ4台〜) の準備と、従量課金の月額ライセンスを選択することで、IaaS型クラウドサービスを最小限のコストでスタートすることが可能です。開発環境、期間限定のコンテンツ配信基盤、サービス開始時の基盤といった用途に向いています。また月額費用の中には、AppLogicのVer.Upやホットフィックスの提供といったサービスも含まれます。

### 特徴3 障害時もデータロスなしで自動復旧!

仮想アプライアンスが利用するストレージのボリュームは、グリッド上の複数サーバのHDDにミラーリングされるため、物理サーバがダウンした際もデータは保全されます。物理サーバの故障を検知した場合、故障したサーバ上で稼働していた仮想アプライアンスを別の物理サーバで自動的に再起動し、ミラーリングされたボリュームとマッピングすることで、サービスを自動復旧させます。これによりグリッド上で稼働する全てのアプリケーションシステムの可用性を実現します。

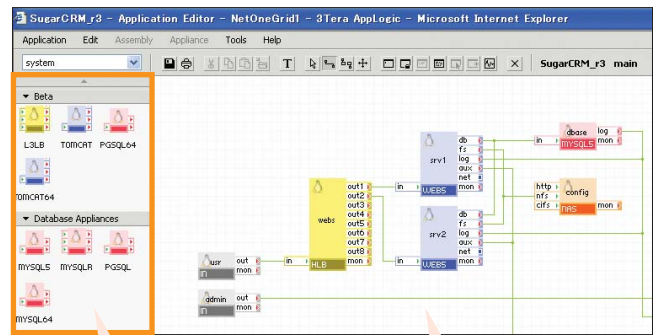
## 多くのOSやアプリケーションが動作可能



AppLogicは一般的に広く利用されているOSをサポートしています。これらOS上で動作するアプリケーションも同様に動作します。そのため、現在利用中のアプリケーションシステムに修正を施すことなく利用することができ、現在までの投資を保護します。

対象OS : Linux、Windows Server 2003 (32bit/64bit)、  
Windows Server 2008 (32bit)、Solaris 10、OpenSolaris

## 管理画面 (WebGUI)



### 仮想アプライアンス・カタログ

この領域から構築させたい機器・機能を選択し、右画面にドラッグ&ドロップします。

配置された仮想アプライアンスをコネクタで接続すれば、その接続構成が仮想空間で構築されます。

管理画面はWebブラウザからインターネットを経由して、どこからでもアクセスできます。直感的に操作できるGUIの他、コマンドラインでも操作可能。作成したアプリケーションシステムを保存し、テンプレートとして再利用することも簡単です。

## サービス展開例

AppLogicの利用により、右記のようなサービス展開が可能です。基盤からアプリケーションまでを統合管理できるため、いままで数週間から数ヶ月かかっていたシステム構築・修正・拡張・削除を数時間で完了させます。また、以下のような悩みを解決します。



### Service Provider : 自社で基盤構築、クラウドサービスの提供に使用する場合

抱える課題	AppLogic導入後のメリット
クラウドサービス基盤を短期間で構築したい	Gigabit Switchとサーバのみでクラウドサービス基盤環境の構築が可能 月単位からの完全従量課金モデルが設定できるため一時的利用を必要とするユーザにも対応可能 最大サーバ128台まで、1つの仮想リソースとして自動的に運用・管理可能
構築に多種多量の機器費用がかかる	
従量課金に設定できる期間が長く、短期間利用のサービス機会を損失	
リソースの増大に伴い、管理・運用負荷が増大	

### Enterprise : 自社で基盤構築、自社で使用する場合

抱える課題	AppLogic導入後のメリット
新サービス立ち上げ時など、予測が難しい事業にかかるリスクが大きい	少ない予算から基盤構築が可能のため、拡充・縮小が自在 仮想リソース上でシステム構築可能のため、即座に使い捨てるの開発可能
アプリケーション開発コスト、期間がかかる	
アプリケーション移植時の負担が大きい	対応OSであれば、既存システムの移管が可能
イニシャルコストの負担が大きい	Gigabit Switchとサーバのみでクラウドサービス基盤環境の構築が可能
システム拡張により、場所・費用のコスト増	使用する機器の種類が少ないため、システム拡張に伴うコスト増は緩やか



\*記載の会社名および製品名は各社の商標もしくは登録商標です。 \*このカタログの記載内容は2010年10月現在のものです。記載内容は製品改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



### ネットワンシステムズ株式会社

〒140-8621 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲  
<http://www.netone.co.jp/>

関西支店	TEL.06-6395-7409	FAX.06-6395-7482	広島支店	TEL.082-511-2661	FAX.082-511-2688
中部支店	TEL.052-223-7676	FAX.052-223-7677	高松支店	TEL.087-811-7933	FAX.087-811-7936
北海道支店	TEL.011-231-5007	FAX.011-231-5008	九州支店	TEL.092-471-7130	FAX.092-471-7107
東北支店	TEL.022-212-6050	FAX.022-212-6051	岡山事業所	TEL.086-235-3363	FAX.086-224-9881
つくば支店	TEL.029-851-1163	FAX.029-851-1184	霞が関オフィス	TEL.03-5572-6380	FAX.03-5572-6379
豊田支店	TEL.0565-37-3552	FAX.0565-37-3556			



### ネットワンパートナーズ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲  
TEL.03-6810-2470 <http://www.netone-pa.co.jp/>  
西日本営業本部 TEL.06-6105-0356 FAX.06-6105-0381